

神田通信機の

Wi-Fiソリューション

(無線LAN)

東北大学 学際科学フロンティア研究所 様

特長

☑ **スマートフォンが内線に**

無線LAN環境を利用し、スマートフォンを内線電話として利用できます。

☑ **APを一元管理**

コントローラーでAPを一括管理し、無線LAN環境を最適に保ちます。

☑ **Webメンテナンス**

電話機の設定をWeb上で変更できます。

システム構成

フロア数 : 3フロア

アクセスポイント (AP) : 21台

PoEスイッチ : 1台

無線LANコントローラー : 1台



アクセスポイント (AP)
アライトテレシス AT-MWS600AP

IEEE 802.11a/b/g/nまたはIEEE 802.11a/b/g/n/acに対応した無線LANアクセスポイントです。



PoEスイッチ
AT-x230-28GP

IEEE 802.3at標準のPoE (Power over Ethernet) 給電機能に対応しています。



無線LANコントローラー
AT-MWS5028GP

無線LAN APを集中管理する、コントローラー機能対応のレイヤー2plus ギガビット PoE+スイッチです。

導入背景

職員のスマートフォンで、内線電話を利用したい

東北大学 学際科学フロンティア研究所様は、電話交換機 (PBX) の老朽化にともない、新しい機種への更新を計画されていました。その中で、スマートフォンに専用アプリをインストールし、PBXと連携させ内線電話として利用できるシステムの導入を希望され、無線LANについても従来の機器からVoIP※に対応した製品へと見直すことになりました。

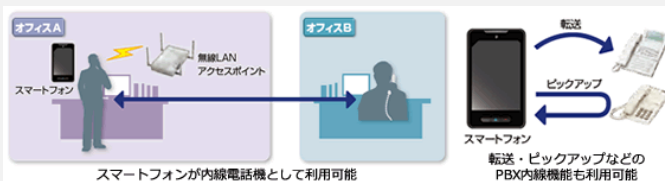
※VoIP…IPネットワーク上で音声通話を実現する技術

導入効果

VoIP対応のアクセスポイントに更新し、一元管理を実現

全3フロアの研究所に、21台のアクセスポイント (AP) を設置。1階のPoEスイッチでAPの電源を供給します。また無線LANコントローラーでAPの一元管理が可能です。PBXと連携しスマートフォン同士で内線通話ができるので、職員様のプライバシーを保てるようになりました。

電話交換機については、日立のMX-01を採用。スマートフォンを内線電話として利用することにより、固定電話機を最低限の台数に抑えることができ、運用コストの削減につながりました。



スマートフォンアプリ
日立 SC210/SC110
スマートフォンで内線通話を実現するアプリ。AndroidスマホとiPhoneに対応。



東北大学 学際科学フロンティア研究所 様

<http://www.fris.tohoku.ac.jp/>

異分野融合による学際的研究を開拓し推進するとともに、学内の各研究科、各附置研究所及び学際高等研究教育院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することによる新たな知と価値の創出を目的として活動しています。

設立：2014年 (平成26年) 4月

所在地：宮城県仙台市青葉区



神田通信機株式会社
<http://www.kandt.co.jp>

神田通信機



公式Twitter

Follow us

@kanda_tsushinki

https://twitter.com/kanda_tsushinki

お問い合わせはお気軽に

03-3690-6911

Copyright © KANDA TSUSHINKI Co., Ltd. All rights reserved.
この文書に記載されているすべての商標は、各所有者の占有財産です。